

な～に谷っ戸ん田 4年目の30回目 - 赤米の稲刈りー

と き： 平成 22 年 1 1 月 6 日(土) 9:30～16:15

ところ： 谷っ戸ん田のたんぼ

天 気： 晴れ

参加者： 石田、霧生(午前)、久保、佐々木家族、佐々木母子、松本妻、百崎母子、
吉田(午後) ゲスト美紗ちゃんのお友達の大塚さんとその子供達、
ハンモックカフェ野地さん、11名、子供5名

活 動

【午前】

- ・ 赤米の鳥除け糸と支柱をはずし、ベニロマンは稲刈り機の可動を助けるために4隅の稲を手で刈る。カンニホは、水路の方が風雨のため稲が倒れている。稲穂も長いので手刈り。カンニホの稲を刈る人、束ねる人と別れて作業を進める。途中から紅ロマンの稲刈り機が作動し始める。が、思っていたよりも田んぼがぬかっている、機械が田んぼにはまり動かなくなることもあり。午前中で何とかカンニホの手刈りを終える。
- ・ 子供達も手伝うが遊びの方がいいみたい・・・当たり前か！

【昼食】

- ・ ハンモックランチ ぎんなんの玄米どんぶり

【午後】

- ・ 楽勝とも思われた赤米の稲刈りだったが、ベニロマンの稲刈り機が思うように作動しない。男二人ではまった機械を動かすのだが、どうにも効率が悪い。そうこうしているうちに機械をあきらめ手刈りとなる。テツさんからは、隣を刈るのではなく、一つおきにやればはまることもなかろうかと、アドバイス頂いたが、時すでに遅し！稲はネコに乗せたり、てんでに肩に乗せたりして運び、はざかけをした。機械を洗浄しに行く人あり。最後に鳥除けの糸を張る。
- ・ ベニロマンは、2段掛けのポール7本弱 カンニホは、1段掛けのポール5本。

感想：今回は、女衆の活躍が大であった。いつもなら、おしゃべりして見ている作業もしっかりやった。分担の作業は、わりかしうまくいっていたようだ。菜の花を播いた畦は所々発芽していたが、稲を運ぶ時にぬかった田んぼを歩くより畦を歩いた方が楽で、かなり踏んでしまった。2日目に内転筋の筋肉痛あり。差し入れに蕎麦のぼーろ(美紗ちゃん)キャベツ(佐々木)があった。

帰る人 見送りもせず 稲を刈る

何回も 稲を束ねる 指にたこ

記録 チャリママ